

都市再生整備計画 事後評価シート
徳山駅周辺地区

平成27年3月

山口県周南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	周南市		地区名	徳山駅周辺地区		面積	180ha			
交付期間	平成23年度～26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	2210 国費率 0.428						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(駅東側区画道路)、高質空間形成施設(市道バリアフリー化)、地域生活基盤施設(駅東側駐輪場、ポケットパーク、南北自由通路、駅南側駐輪場)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(駅ビル跡地等活用、まちなかアメニティ推進、自由通路関連設備、駐輪場防犯カメラ、銀南街リニューアル)事業活用調査(まちづくり交通実態調査等)まちづくり活動推進事業(店舗実証実験、歩車共存道路化検討、まちづくりイベント等)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(駅地下駐車場エレベーター整備、駅前ロータリー美化)			事業の進捗状況を踏まえ削除			数値目標を下方修正			
			提案事業										
	交付期間の変更		当初	平成23年～27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響はあるものの、軽微である。そのため、目標数値は据え置く					
変更			平成23年～26年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	駅南北間の歩行者交流人口	人/日	1,162	H22	1,200	H26	1,051	1,245	○	あり なし	南北自由通路の完成により、移動が円滑化され、交流人口が増大した。	H27.11
	指標2	北口駅前広場の歩行者通行量	人/日	4,131	H22	3,150	H26	3,334	2,297	△	あり なし	徳山駅南北自由通路の完成により歩行者の動線が変化するため、通行量が減少した。	H27.11
	指標3	市道等のバリアフリー化率	%	41.0	H22	75.1	H26	-	75.1	○	あり なし	予定どおりバリアフリー化が進捗した。一部整備方針が検討中の路線があるため、それらの路線を除く全ての市道のバリアフリー化を完了した。	
	指標4									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	北口駅前広場の歩行者通行量(北東側)	人/日	2,826	H23			4,216			徳山駅南北自由通路の完成により、歩行者の動線が変化するため、通行量が増加した。	H27.11	
	その他の数値指標2	北口駅前広場の歩行者通行量(北西側)	人/日	1,675	H25			1,782			通行量は微増で、自由通路開通による広場西側の動線変化はないと考えられる。	H27.11	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	これまで利用されていた駅の南北地下通路は、南北に移動する人しかいなかったが、南北自由通路が完成し、橋上駅に接続したことで、駅利用者や南北に移動する人が一緒に歩くことによるため、賑わいがあるように見えるようになった。また、滞留時間も増加した。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	歩行者通行量の計測による駅南北間の交流人口及び北口駅前広場の利用状況の調査		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● モニタリング時と同様な方法により確認する。					
	住民参加プロセス	徳山駅周辺デザイン会議や中心市街地活性化協議会、歩車共存道路化検討委員会を実施し、周南市交通バリアフリー基本構想策定協議会により、徳山駅周辺地区のバリアフリー化についての検討を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● デザイン会議等委員会の内容をまちづくりに反映するとともに、まちづくり会社と市民の主体的な活動の支援を行う。 ● バリアフリー推進懇話会によってできた連携を更に強化するとともに、これからの方針、整備内容に関する意見を随時取り入れていく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり関係組織の支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 中心市街地活性化基本計画の実現に向けて官民一体となって取り組んでいく。					

様式2-2 地区の概要

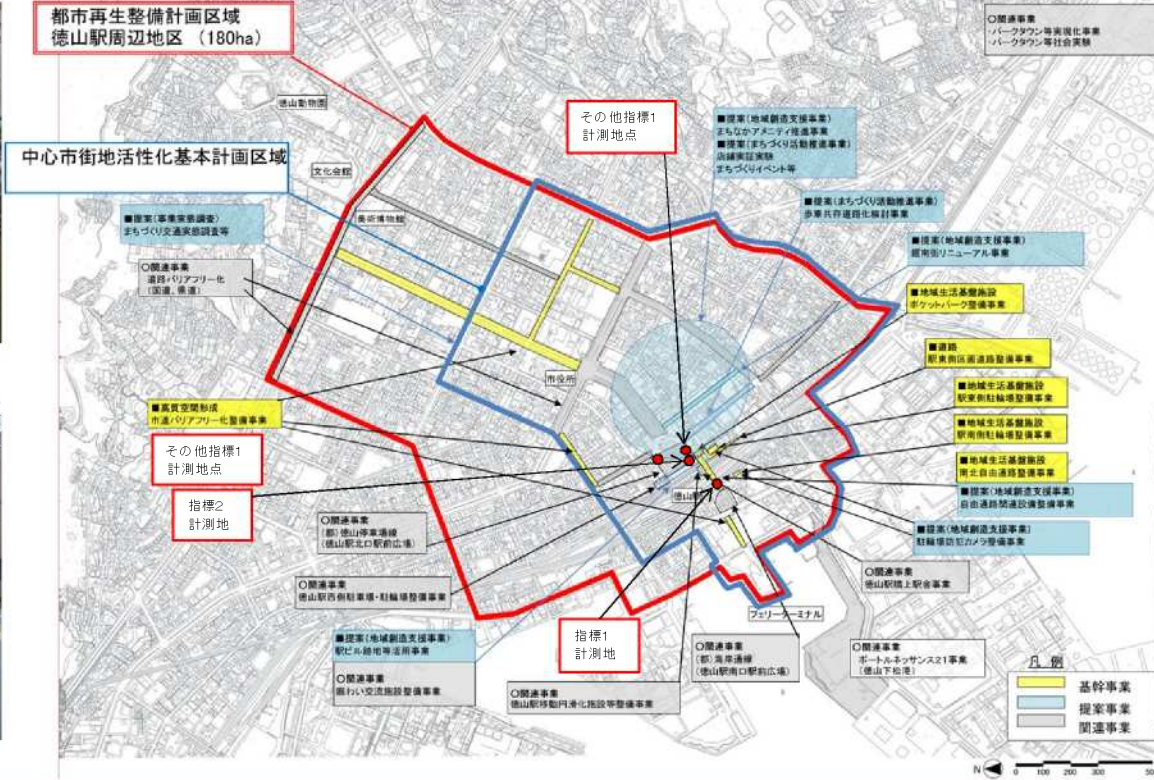
徳山駅周辺地区(山口県周南市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
徳山港周辺(レクリエーション・交通拠点)～徳山駅周辺(商業業務・交通拠点)～市役所周辺(行政拠点)～徳山公園周辺(市民・文化拠点)までの区間を周南市の都心軸として設定しており、中でも市の玄関口である徳山駅周辺地区の拠点性を強化させ、また、拠点間の連携効果の発揮により、中心市街地の活性化、街なか居住の推進、広域的な拠点機能の向上、都市としての魅力の回復と向上を図る。 ①都心軸に位置するさまざまな都市機能を連携し、徳山駅周辺地区を周南市の顔としての拠点性を強化させ、中心市街地の活性化を図る。 ②徳山駅および周辺の交通関連施設の整備、交通動線の明確化、バリアフリー化を進め、交通結節点機能の向上を図る。 ③戦後の土地区画整理事業により形成された御幸通り、岐山通り等の優れた都市基盤を活かした都市機能集積を図り、都市魅力の回復と向上を図る。	駅南北間の歩行者交流人口	単位:人/日 1,162	H22 1,200	H26 1,245
	北口駅前広場の歩行者通行量	単位:人/日 4,131	H22 3,150	H26 2,297
	市道等のバリアフリー化率	単位:% 41.0	H22 75.1	H26 75.1
その他の数値指標		従前値	目標値	評価値
	北口駅前広場の歩行者通行量(北東側)	単位:人/日 2,826	H23	H26 4,216

歩車共存道路化検討事業



市道バリアフリー化事業



徳山駅南北自由通路



徳山駅橋上駅舎



まちの課題の変化 徳山駅南北自由通路の完成や各市道のバリアフリー化など基盤整備の進捗により、環境は整いつつある一方で、賑わいの拠点であった県東部唯一の百貨店の撤退を受けて、拠点性を失いつつある。市民アンケートによると中心市街地の活性化が重要であるという認識であり、賑わいの拠点となる施設を整備し、これまで整備してきた基盤を活用して回遊を促していく必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) ・集客の拠点とある(仮称)新徳山駅ビルの整備を速やか行う。
・(仮称)新徳山駅ビルと地元商店街の連携を図り、中心市街地の賑わいを創出する取り組みを行う。
・歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けて、道路の使い方などの検討を行い、道路空間の再編成を行う。